

# 平成 27 年度 事業報告及び財務状況

## I 設置校の概要(平成 27 年 5 月 1 日現在)

- 1 学生、生徒及び園児数
- 2 専任教職員数

## II 役員会の開催状況

## III 主な事業の目的・計画及び実績

## IV 決算の概要

- 1 資金収支計算書
- 2 活動区分資金収支計算書
- 3 事業活動収支計算書
- 4 貸借対照表
- 5 財産目録
- 6 部門別事業活動収支決算内訳 (参考)
- 7 部門別決算額推移表 (参考)

# I 設置校の概要

## 1. 学生・生徒・園児数(平成27年5月1日在籍)

部門	学部・学科名等	収容定員 (A) 人	1年 人	2年 人	3年 人	4年 人	在籍合計 (B) 人	定員充足率 B/A	備考
大学	現代社会学部	490 ( 490 )	117 ( 111 )	109 ( 95 )	90 ( 100 )	99 ( 100 )	415 ( 406 )	0.85 ( 0.83 )	
	子ども育成学部	330 ( 330 )	96 ( 101 )	99 ( 85 )	89 ( 80 )	81 ( 78 )	365 ( 344 )	1.11 ( 1.04 )	
	小計	820 ( 820 )	213 ( 212 )	208 ( 180 )	179 ( 180 )	180 ( 178 )	780 ( 750 )	0.95 ( 0.91 )	
短大	食物栄養学科	160 ( 160 )	104 ( 80 )	79 ( 89 )			183 ( 169 )	1.14 ( 1.06 )	
	幼児教育学科	160 ( 160 )	110 ( 83 )	83 ( 88 )			193 ( 171 )	1.21 ( 1.07 )	
	経営情報学科	200 ( 200 )	127 ( 102 )	98 ( 127 )			225 ( 229 )	1.13 ( 1.15 )	
	福祉学科	140 ( 140 )	36 ( 46 )	43 ( 46 )			79 ( 92 )	0.56 ( 0.66 )	
	専攻科食物栄養専攻	30 ( 30 )	16 ( 18 )	18 ( 16 )			34 ( 34 )	1.13 ( 1.13 )	
	小計	690 ( 690 )	393 ( 329 )	321 ( 366 )			714 ( 695 )	1.03 ( 1.01 )	
高校	全日制課程普通科	735 ( 730 )	289 ( 262 )	250 ( 277 )	267 ( 337 )		806 ( 876 )	1.10 ( 1.20 )	入学定員 (25)240 (26)245 (27)250
幼稚園		84 ( 84 )	(3歳児) 36 ( 31 )	(4歳児) 33 ( 31 )	(5歳児) 32 ( 43 )		101 ( 105 )	1.20 ( 1.25 )	
総計		2,329 ( 2,324 )					2,401 ( 2,426 )	1.03 ( 1.04 )	

※1. 在籍合計欄の は定員割れを示す  
 ※2. ( )内は26年度の収容定員及び在籍人員(5月1日現在)

## [参考] : 平成28年度在籍数

部門	学部・学科名等	収容定員 (A) 人	1年 人	2年 人	3年 人	4年 人	在籍合計 (B) 人	定員充足率 B/A	備考
大学	現代社会学部	490	95	116	107	92	410	0.84	
	子ども育成学部	330	91	92	102	90	375	1.14	
	小計	820	186	208	209	182	785	0.96	
短大	食物栄養学科	160	83	103			186	1.16	
	幼児教育学科	160	90	107			197	1.23	
	経営情報学科	210	116	118			234	1.11	
	福祉学科	130	40	34			74	0.57	
	専攻科食物栄養専攻	30	15	16			31	1.03	
	小計	690	344	378			722	1.05	
高校	全日制課程普通科	745	319	279	248		846	1.14	入学定員 (26)245 (27)250 (28)250
幼稚園		84	(3歳児) 30	(4歳児) 34	(5歳児) 33		97	1.15	
総計		2,339					2,450	1.05	

## 2. 専任教職員数(平成27年5月1日在籍)

	本部 人	大学 人	短大 人	高校 人	幼稚園 人	合計 人	備考
教員数	— ( — )	△ 2 42 ( 44 )	△ 2 38 ( 40 )	△ 4 48 ( 52 )	0 7 ( 7 )	△ 8 135 ( 143 )	特任教員を含む
職員数	3 ( 3 )	△ 2 23 ( 25 )	△ 1 23 ( 24 )	0 4 ( 4 )	0 — ( — )	△ 3 53 ( 56 )	実習助手を含む
合計	3 ( 3 )	△ 4 65 ( 69 )	△ 3 61 ( 64 )	△ 4 52 ( 56 )	0 7 ( 7 )	△ 11 188 ( 199 )	

※1. ( )内は平成26年5月1日在籍の人数である

## II 役員会の開催状況

- 平成27年5月27日 理事会・評議員会
- 平成27年9月17日 理事会・評議員会
- 平成27年12月15日 理事会・評議員会
- 平成28年3月29日 理事会・評議員会

区分	開催日現在の状況		開催年月日	議 事 内 容
	定 員	現 員(a)		
理 事 会	20~26	21	平成27年5月27日	<b>第218回理事会</b> 議案第1号 平成26年度事業報告及び決算報告の件 → <b>議決</b> 議案第2号 富山短期大学学則の一部改正の件 → <b>議決</b> 議案第3号 富山国際大学付属高等学校学則の一部改正の件 → <b>議決</b> 議案第4号 理事長選任の件 → <b>議決</b> 議案第5号 常務理事選任の件 → <b>議決</b> 議案第6号 学識経験者のうちから評議員選任の件 → <b>議決</b>
		21	平成27年9月17日	<b>第219回理事会</b> 議案第1号 富山短期大学学則の一部改正の件 → <b>議決</b> 議案第2号 富山短期大学付属みどり野幼稚園園則の一部改正の件 → <b>議決</b> 議案第3号 学校法人富山国際学園の中長期計画、各学校等の人事政策及び経費削減の数値的な中長期目標の策定等に関する件 → <b>議決</b> 議案第4号 学識経験者のうちから評議員選任の件 → <b>議決</b>
		21	平成27年12月15日	<b>第220回理事会</b> 議案第1号 監事選出の件 → <b>議決</b>
		21	平成28年3月29日	<b>第221回理事会</b> 議案第1号 平成27年度資金収支補正予算案及び事業活動収支補正予算案に関する件 → <b>議決</b> 議案第2号 平成28年度事業計画案並びに資金収支予算案及び事業活動収支予算案に関する件 → <b>議決</b> 議案第3号 富山国際大学学則の一部改正の件 → <b>議決</b> 議案第4号 富山短期大学学則の一部改正の件 → <b>議決</b> 議案第5号 学識経験者のうちから評議員選任の件 → <b>議決</b> 議案第6号 法人職員のうちから評議員推薦の件 → <b>議決</b>

区分	開催日現在の状況		開催年月日	議 事 内 容
	定 員	現 員(a)		
評 議 員 会	41~53	44	平成27年5月27日	<b>第198回評議員会</b> 諮問第1号 平成26年度事業報告及び決算報告の件 → <b>了承</b> 諮問第2号 富山短期大学学則の一部改正の件 → <b>了承</b> 諮問第3号 富山国際大学付属高等学校学則の一部改正の件 → <b>了承</b>
		43	平成27年9月17日	<b>第199回評議員会</b> 諮問第1号 富山短期大学学則の一部改正の件 → <b>了承</b> 諮問第2号 富山短期大学付属みどり野幼稚園園則の一部改正の件 → <b>了承</b> 議案第1号 評議員のうちから理事選任の件 → <b>議決</b>
		43	平成27年12月15日	<b>第200回評議員会</b> 議案第1号 監事選出に同意の件 → <b>議決</b>
		43	平成28年3月29日	<b>第201回評議員会</b> 諮問第1号 平成27年度資金収支補正予算案及び事業活動収支補正予算案に関する件 → <b>了承</b> 諮問第2号 平成28年度事業計画案並びに資金収支予算案及び事業活動収支予算案に関する件 → <b>了承</b> 諮問第3号 富山国際大学学則の一部改正の件 → <b>了承</b> 諮問第4号 富山短期大学学則の一部改正の件 → <b>了承</b> 議案第1号 法人職員のうちから評議員選任の件 → <b>議決</b> 議案第2号 評議員のうちから理事選任の件 → <b>議決</b>

### Ⅲ 主な事業の目的・計画及び実績

#### 学園

##### 新駅（願海寺）設置に向けた取り組みの強化

富山国際学園は、「永年の悲願」である呉羽キャンパスがある願海寺地区への新駅設置について、地域の皆様と協力しながら取り組んでおります。

平成 27 年度は、富山県に「並行在来線の新駅設置についての要望」、新駅（願海寺）期成同盟会とともに無人駅の視察を行いました。

今後とも、新駅設置に向けての活動を更に強化していきます。

#### 富山国際大学

##### (1) 平成 27 年度学生募集活動及び平成 28 年度入学者数

定員確保が経営改善の最重点課題であるとともに、中・長期的な視野に立っての志願者確保・入学者確保のためには大学としての入学生の質の確保も重要な課題です。選ばれる大学になるために「戦略的定員割れ」を実施している大学もあります。

大学では、高校 3 年生とその保護者を対象とした短期広報、高校生とその保護者を対象とした中期広報、中学生とその保護者や地域社会を対象とした長期広報を実施しています。

平成 27 年度は、本学への志願者数・入学者数が少なく、石川県の大学のマーケティングエリアとなっていると思われる富山県西部に対しての広報活動（イオンモール高岡モールスケープ広告）を始めました。北陸新幹線開業 2 年目となる平成 28 年度入試では、一般入試（前期）で長野県長野市に地方会場を設け、高校訪問も含め中・長期学生募集を実施しているところです。

しかし、過去 3 ヶ年増加傾向にあった入学者数が平成 28 年度入試では減少に転じ、現代社会学部入学定員 120 名に対して 94 名入学（定員充足率 78%）、子ども育成学部入学定員 80 名に対して 89 名（定員充足率 111%）、総入学定員 200 名に対し 183 名の入学（定員充足率 92%）でした。

現代社会学部は、推薦入試志願者の減少、県内高卒求人好調による職業科等の専門学科の進学率低下、男子入学者の減少などが要因です。

子ども育成学部は、小学校採用試験合格実績など出口に対する評価が高く、志願者数は減少したものの入学者数は確保しました。

石川県の大学のブランド力強化及び北陸新幹線によるストロー現象に押されないよう、引き続き富山県内の学生募集活動を強化するとともに、長野県、北関東をターゲットとした学生募集も展開し、志願者・入学者の確保に努めていきます。

##### (2) 重点目標・活動計画を中心とした取り組み

###### ①アクション・プランの実行

平成 26 年度から 3 年間で計画期間とするアクション・プランを策定しています。学生の成長を保証する教育の実践、充実した学生生活の支援、「なりたい自分」になれるためのキャリア支援・就職支援の強化、国際化に対応できる人材の育成、地域との連携による教育活動、ブランド力の強化、大学の教学マネジメントの確立、などの基本目標に基づく約 50 項目のアクション・プランと約 150 項目に及ぶ具体的な実行計画から成っています。

###### ②授業の改革

平成 27 年度も平成 24 年度から毎年採択されている文部科学省が公募した「私立大学教育研究活性化設備整備事業補助金」に採択され、アクティブラーニングに全学的に取り組みました。平成 27 年度は、固定式の机・椅子が入っていた教室に、キャスター付きの机・椅子を導入し、能動的にグループ学習しやすく整備しました。また、天吊液晶プロジェクターや電子黒板、電動スクリーン、リモートカメラ、カメラコントロールシステム等を導入し、遠隔授業を可能にしたばかりでなく、講義内容を録画して e-learning で予習・復習も可能にし、グループワークなどでは、個々の作成したデジタル資料をその場で提示もできるようになりました。整備された設備による教育の活性化に引き続き取り組んでいきます。

また、平成 27 年度は、富山大学を主幹校として文科省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択されるとともに、COC+参加校として、地方創生の取組を一層推進するため、COC+大学の申請に併せて事業協働機関として取り組む全学的なカリキュラムの改革案を提出し、特に優れた取組として認められた

大学として「地（知）の拠点大学」の認定を受けました。この取組の中で、本学は、地元就職率の更なる向上とともに、より地域定着性の高い、地域のリーダーとなり得る学生を多く輩出するため、地域課題を探求する意欲の高い人材を養成するための体系的な「とやま地域創生人材育成プログラム」を構築します。このプログラムの中核は、地域課題探求への動機付けから地域課題解決型卒業研究に至る、4段階の地域課題探求プロセスによる課題解決力の育成を図ることであり、地方自治体の課題を学ぶ新しい科目等も開講し、特に卒業研究の7割以上を地域課題解決型テーマで実施することを目標としています。COC+事業に参加する県内大学の学生が協働で学ぶ「地元学」の講座や協働演習・インターンシップなどの新しい「とやま創生協働カリキュラム」の開発を行い、実施します。実施に当たっては事業協働機関の協力を得つつ、プログラム実施による能力特性評価テストも導入して、成果を検証しながら、地域定着性の強い人材の育成を図っていきます。

## ②施設・設備整備

### (i) 校舎の環境整備

平成27年度で開設より25年経ました。経年劣化による校舎のひび割れ等が目立つようになってきており、屋上も漏水などのおそれがあります。そのため、平成25年度より計画的に屋上防水工事を行い、平成27年度は厚生棟と体育館南を行いました。東黒牧キャンパスの貯水池も漏水し、役割を果たしていなかったため、防水工事を行いました。また、空調なども開設当初に整備したものが未だ多くあり、予定外の修繕が増えました。今後も順次計画的に工事を行っていく予定です。

## ③教育研究活動

**外部獲得資金状況 【総計】 35件 87,244千円（別表1参照）**

### (3) 地域との連携

富山駅前CiCビル3階富山国際学園サテライト・オフィス「地域交流センター」では地域の諸機関との連携、一般市民と本学との参加型イベント、公開講座、学生のボランティアサークル活動など年間を通し、学園と地域との交流拠点として運営しています。平成24年度からはエクステンション・カレッジも発足し、より地域への知的財産の還元として、公開講座の充実に努めています。

利用者数は平成26年度と比較すると、エクステンション・カレッジ受講者数は237人から347人と増加したものの、プレビュー講座で163人から138人と微減、サテライト・オフィスの利用状況としては2,847人から2,391人（いずれも延べ数）で大幅な減少傾向にあります。

しかしながら、前述のとおり、本学には地（知）の拠点としての役割があります。平成27年度には、富山市に続いて、南砺市と包括連携協定を締結し、連携協定記念フォーラムを南砺市にて開催しました。今後はサテライト・オフィスが大学の地域への窓口の中心として、広く地域の人々の声（ニーズ）を拾い、還元していくこととしています。

地域に根ざした大学として社会のニーズに対応した講座を開設するなど、より一層の利用者の増加に努めていきます。

### (4) 就職状況

就職率は、現代社会学部、子ども育成学部とも100%となりました。

現代社会学部では、1年次からキャリア支援を行っており、就職先も上場企業、銀行を含む金融機関などに多数就職しました。平成26年度からは公務員試験対策講座PAPコースを開設し、平成27年度は28名が受講者しています。今後は、公務員試験合格者の増加にも力を入れるなど、一層の就職先の充実に力を入れていきます。

子ども育成学部では、本年度も多くの専門職に就くことができました。また、国立の大学院への進学者も出すことができました。今後も地域の期待に応えるべく指導していきます。

### (5) 課外活動

両キャンパスには運動系・文化系のクラブがあり、運動系のクラブでは、競技力向上を目標に心・技・体を育成し、各種大会で優勝を目指しています。文化系のクラブでは、様々な芸術活動を通し、豊かな感性を高めるとともに、大会、展示会で高い成果を目指し活動しています。

平成27年度の運動系の実績として、ボート部が全日本選手権大会の女子ダブルスカル種目において2連覇を

達成しました。また、女子ハンドボール部は全国大会に8年連続出場しています。文化系は、子ども育成学部の学生が様々なボランティア活動を精力的に行ったことが評価され、国立青少年教育振興機構より法人ボランティア表彰を受賞しました。

クラブ活動以外にも、第59回にもなる富山県青年議会において現代社会学部の学生が議場で一般質問の場に立つなど、多くの分野で活躍しています。

## (6) 各学部の状況

### 現代社会学部

・平成27年度は以下のことに重点を置きながら学部の改革を進めてきました。

①**入学定員の確保**…教育・就職の質の向上に努めるとともに、その成果をオープンキャンパス、教員による高校訪問、学部長による校長訪問などによってPRしました。

②**教育の質の向上**…FD研修や互見授業などを積極的に実施しました。

③**就職の質の向上**…公務員試験対策PAPを実施（受講者28名）しました。

④**休退学者の減少**…個別指導の徹底や保護者との緊密な連携、教員間の情報共有を徹底しました。

⑤**地域連携・交流活動の推進**…授業や専攻実習、課外活動において地域と積極的に連携しました。

⑥**国際交流活動の推進**…海外インターンシップ（中国・南通2名）国際ナショナルプログラムズ：長期（ロシア1名、フランス1名、中国1名、韓国1名）短期（オーストラリア5名）異文化研修（中国5名、デンマーク5名、韓国6名、タイ8名）国際交流実習（タイ10名）の参加者数となりました。また、チューター制度も継続的に実施し、学内においても外国人留学生との交流が活発に行われました。平成27年度においては、English Caféを開催し、語学力の強化にも力を入れました。

⑦**外国人留学生の受入**…学部留学生47名（4年生11名、3年生16名、2年生12名、1年生8名）

交換留学生9名、外国人研究生5名を受入れました。

国別：中国54名、ネパール2名、韓国1名、タイ1名、ロシア3名

### 子ども育成学部

・小学校教員採用試験9名合格、社会福祉士国家試験8名合格

子ども育成学部は4期生を送り出し、先輩に負けず劣らずの成果を出しました。教員採用試験2次試験では9名（前年度5名）合格、既卒者も含めれば16名合格しました。また、社会福祉士国家試験では8名（前年度12名）合格し、合格率では北陸3県の私大では1位（前年度1位）の好結果をあげることができました。「教育と福祉のハイブリッド」を掲げる学部として今後もこれ以上の結果を求めるとともに、卒業生が地域や子ども育成の現場で高い評価を得られ続けられるようフォローしていきます。

## 富山短期大学

### (1) 平成27年度学生募集活動及び平成28年度入学者数

平成27年度の学生募集は、高校訪問、進学相談会、高校内説明会、オープンキャンパス等、高校教員や高校生に直に接することのできる広報に加え、『未来の富短生に「富山短期大学」を意識付けする。』ことをコンセプトに、平成26年度に引き続いて、富山地鉄バスのラッピングや新聞広告、公共交通機関の交通広告への参画等により、富短（トミタン）キャラクターの県内外へのPRを強化することに努めました。

平成28年度入試における出願者総数は、短大全体で前年度対比14%の減少となりました。これは平成27年度入試において、主に推薦入試及びセンター入試での出願者が前年度と比較して大幅に増加したことに対する出願者の警戒心理が働いたものと捉えています。平成27年度入学の定員充足率は112.2%と入学定員を遥に上回る結果となりましたが、平成28年度入学の定員充足率は、2学科（食物栄養、幼児教育）において、厚生労働省や県からの指導による定員遵守の確実な履行により、若干合格者数を抑制せざるを得なかったことや年度末（3月末）に国公立大学で追加合格が行われたことが影響して、最終的には98.5%となりました。

来年度の学生募集に際しては、「トミタンLINE」の構築とキャラクターを活用した新たな広報戦略の実施や地元を中心とした募集強化により、出願者・入学者の確保に努めていきます。

## (2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

### ①アクション・プランの策定

平成 27 年度から 3 年間で計画期間とするアクション・プランを策定しました。教育活動から学生生活支援、地域貢献、入試広報、大学運営にいたる分野までの約 120 項目のアクション・プランと具体的な行動計画から成っています。

### ②授業の改革

文部科学省が公募した「大学教育再生加速プログラム (A P)」に「学修成果評価システム」の構築による P D C A サイクルのシステム化」が平成 26 年度に採択されました。取組期間は 5 年間で、平成 27 年度は、「学修成果評価システム (L O A S)」の開発、W e b シラバスシステムを通じた新入生アンケートの実施、授業改善のための教職員の協働支援システム (グループ・ウェアシステム) の構築並びに卒業生 (過去 3 年以内) 及び就職先アンケート等を行い、学習支援 I R を推進していくための基礎データの収集・分析を行いました。

### ③地 (知) の拠点大学による地方創生推進事業 (C O C +)

平成 27 年度に、富山大学が、富山県全体を事業協働地域とした地 (知) の拠点大学による地方創生推進事業 (C O C +) を受託しました。富山県内全域を対象として C O C + 事業を推進するにあたり、富山県内すべての高等教育機関が、富山県及び県内すべての市町村と協力協定を結び、協働して事業に取り組む体制を整えており、本学もこの事業に参画しました。

### ④施設・設備整備

文部科学省が公募した「私立大学教育研究活性化設備整備事業」に 4 年連続で採択されました。本学は、「協働・出会い・自立・共生」の促進をテーマに、学生たちの協働学習とその成果の可視化・共有化に焦点をあて、アクティブ・ラーニング環境の整備による学習効果の向上を目的としています。平成 27 年度は、平成 26 年度に整備したプレゼンテーションスタジオ内にグループワーク／協働学習が実施しやすいよう可動式机・椅子、さらには可動式のホワイトボードを導入し整備しました。加えて、学生のパフォーマンスをリアルタイムで映像化・可視化できる設備を導入して、大型マルチビジョンシステムに再生できる仕組みを構築し、多目的ホールとしての機能を拡充しました。

総工費 9, 6 6 6, 0 0 0 円

### ⑤現有校舎の環境整備

既存校舎の環境整備のため、教室内装の修繕や空調設備の更新等を行って、学生が快適に学習に望めるよう整備しました。

C 館屋上防水修繕工事	2, 7 8 6, 4 0 0 円
A 3 3 0 教室内装修繕工事	1, 0 5 5, 1 6 0 円
A 3 0 4 教室エアコン改修工事	1, 3 4 7, 8 4 0 円

### ⑥教育研究活動

外部獲得資金状況 【総計】 1 7 件 6 3, 5 5 6 千円 (別表 2 参照)

## (3) 地域貢献の取組み

### ①公開講座

平成 27 年度の公開講座は、県民カレッジとの連携講座をはじめ、富山国際学園のサテライト・オフィスを活用しての講座等、9 会場に渡り 29 講座を開講しました。受講者は延べ 1, 975 人に上り、広く県民に聴講いただきました。

### ②学生のボランティア活動

平成 19 年度より、学生の人間力向上の手段として、ボランティア活動への参加を推奨する取組を、全学を挙げて実施しています。平成 27 年度は、434 件の依頼に対し 146 件の案件に学生が参加しました。また、平成 27 年度学生 1 人あたりのボランティア参加回数は、年平均 2.0 回であり、年間を通して積極的に地域貢献活動に携わりました。

## (4) 就職状況

在学期間が 2 年間と短いため、1 年次から進路ガイダンスを実施するなど、学生が将来に向けたキャリアプラ

ンニングを考えられるように支援しています。また、外部講師による就職関連講座や公務員対策講座の実施など、就職支援センターが中心となって、学生の満足度の高い就職支援に尽力しています。その結果、平成 28 年 3 月末時点で、4 学科及び専攻科の就職率は 100%の就職率となっています。専門職への就職率は、食物栄養学科 91.8%、幼児教育学科 98.8%、福祉学科 97.4%となっています。経営情報学科を中心とした一般職への就職も、金融機関や地元の優良企業への就職者も多数おり、本学卒業生の質の高さを社会が認めてくれているものと思われます。また、卒業時に未就職であった学生がいた場合には、卒業後も引き続き支援を続けることとしています。

## (5) 各学科の状況

### 食物栄養学科

#### ①栄養士等の資格取得

平成 27 年度卒業生 78 名中 76 名が、栄養士の資格を取得しました。栄養教諭二種取得者数は、11 名でした。フードスペシャリストについては、27 名が試験に合格し資格を得ることができました。

#### ②栄養士実力認定試験等

全国栄養士養成施設協会が実施している栄養士実力認定試験では、全国の短大平均得点が 38.8 点であったのに比べて、本学は 41.4 点であり、本年度も全国平均を上回る結果を得ました。

#### ③就職動向

平成 27 年度の卒業生の就職決定率は、100%でした。卒業生 78 名中、就職 73 名、管理栄養士養成コース四年制大学への編入学 1 名、その他 4 名でした。栄養士職又は栄養士に準ずる職業に就いた卒業生は 65 名であり、多くの卒業生が栄養士の資格を活かした分野に就職しました。

### 幼児教育学科

#### ①保育者養成

平成 27 年度卒業生 83 名のうち、幼稚園教諭二種免許状取得 82 名、保育士資格取得 83 名であり、就職決定率は 100%（就職希望者 83 名）となりました。

就職先は、幼稚園 4 名、幼保連携型認定こども園 18 名、保育所 58 名及び福祉施設 2 名など専門職就職率 98.8%であり、公務員採用試験（保育士）には 18 名が合格し、就職しました。

#### ②授業改善・共同研究の取り組み

昨年度に引き続き、各科目の協働によりオペレッタの制作・公演活動に取り組み、その成果を「富山第一銀行奨学財団助成セミナー研究発表会」で発表しました。また、各科目の合併授業として、学生の企画・運営による運動会を実施しました。

教養科目「基礎演習」を開講し、学びのためのスキルの向上を図りました。他科目からの働きかけもあって付属図書館の貸出冊数は前年度の 3 倍に増加しました。

学修成果の発表、実践力の向上の機会として付属幼稚園児親子を対象とした親子活動「とみんぐ」を実施しました。3 回にわたって実施し、各回約 30 組の親子が参加しました。

#### ③第 42 回幼児教育研究会

県内外の幼稚園・保育所等の関係者と保育者養成校の教員、学生が一堂に会し、研究と実践を交流・推進する場としての幼児教育研究会を開催しました。

日時：平成 27 年 6 月 20 日(土)

研究主題：「保育内容を見つめ直すー保育内容を支える保育者の専門性ー」、参加者：330 名

### 経営情報学科

#### ①就職動向

平成 27 年度卒業生の就職決定率は 100%、4 年制大学への編入学者 3 名を含め、2 年連続で進路決定率 100%を達成しました。

#### ②インターンシップ

平成 27 年度のインターンシップ参加者は 107 名で、1 年生入学者 125 名に対して 86%の学生が研修を行い、全国でも稀に見る高参加率を維持しています。

#### ③資格取得

経営情報学科では多彩な資格を取得するよう強力に支援しており、これまで多くの学生が取得している日商PC検定（文書作成・データ活用）3級、日商簿記検定3級・2級の取得率に加え、日商PC検定（文章作成）2級（31%増）及び秘書検定2級（15%増）の2つの資格において前年度より大幅に取得者が増加しました。

#### ④きめ細やかな進路支援

大学祭において金融機関と編入学を希望する1・2年生と卒業生との3学年にわたる懇談会を実施し、先輩と後輩の縦の関係を活かすことに一定の成果をあげました。また、1年生を対象に「富山の産業と企業」というエクステンションプログラムを通して20数社の会社紹介を行いました。1年生は就職活動における企業研究に役立てるとともに、学科と企業との連携を深める企画に繋がりました。

### 福祉学科

#### ①学科改編の取り組み

福祉を取巻く社会情勢の変化に対応するとともに、広く受験生の福祉分野への関心を喚起させ、入学者確保につながることを目的に、教育課程の拡大と取得可能な資格の倍増を図りました。これにより、成長著しい福祉ビジネス分野での一般職への就職や、四年制大学への編入学を容易にさせることなどが可能になると思われ、学科の将来展望を開くものと期待しています。28年度入試では、前年度より入学者を5名増やす結果も出ており、今後さらなる広報活動に努めていきたいと考えております。

また、介護福祉分野は1年次に介護職員初任者研修を全員が修了できることとし、仮に介護福祉士の取得をしないまでも、介護の学びを基盤にした福祉ビジネスパーソンやソーシャルワーカーの養成につながる事となりました。

#### ②就職実績

41名が卒業し、地方自治体での事務職1名と進学・編入学2名を除く全員が介護福祉専門職として就職を果たしています。特筆すべきは公務員採用が3名（介護職含む）出た点で、事務職のほかは福祉総合職と介護職での採用となっています。例年に比べ、編入学は減少していますが、家庭の経済事情を反映したものと思われる。卒業生のほとんどを介護現場へ送り出しているのは、教育の成果だと見ております。

#### ③教育設備の充実と授業改善

80インチのマルチタッチ液晶パネルをはじめ、2台のカメラ、そして10台のタブレット端末の導入により、介護実習室での演習授業がよりわかりやすいものになりました。それまでは、教員によるデモンストレーションのたびに学生が席を立ち、教員の周りに集まる必要があったものが、席についたまま教員の手元まで画面によって確認できるようになり、授業の効率化が進みました。また、タブレット端末で学生がお互いの実技を撮影し、即座に動画で振り返りができるようになったことで、学生自身による気づきとコミュニケーション力の向上にもつながりました。

#### ④富山県介護福祉士養成校協会の事務局

富山県介護福祉士養成校協会の事務局を平成15年の結成以来務めており、県内4校（本学含む）の取りまとめや富山県厚生部をはじめとする関係機関・団体との連絡調整などの活動を、年間を通じておこなっています。また、富山県厚生企画課からの委託事業として、実習時における腰痛予防マニュアルの作成に中心となって取り組み、県内の実習施設約100箇所へ発送するとともに、28・29年度の2カ年にわたってその効果検証に取り組んでいく予定です。

そのほか、高校生等を対象とした「福祉の魅力体験事業」や高校の福祉担当教員等を招いての「養成校と高校教諭との担当者会議」も、事務局で主導的に取り組んできました。介護福祉士等修学資金の拡充も富山県厚生部へ協会として要請行動をおこない、28年度の大幅な拡充（13枠増）という成果を生んだところです。

### 専攻科食物栄養専攻

#### ① 学位取得

専攻科の学位授与方針（ディプロマポリシー）として、学士（栄養学）の取得があり、毎年学位取得率100%を目指して、各指導教員がマンツーマンで学生の研究指導に当たっています。平成27年度では、修了生18名のうち16名が合格して学位を取得しました（学位取得率89%）。なお、不合格者2名については、学位申請手続を4月に終え、6月に再受験する予定になっています。

#### ② 管理栄養士国家試験合格

専攻科のもう一つのディプロマポリシーに管理栄養士の育成があり、管理栄養士国家試験に合格して管理栄

養士になることを教育目標としています。管理栄養士国家試験合格は、通常の授業に加えて、特別講義、特訓講座、本学独自の管理栄養士国家試験対策講座で対応しており、平成27年度では、受験者18名のうち14名が合格し（合格率77.8%）、残念ながら全国平均（85.1%）を上回ることができませんでした。次年度は今年度以上に気を引き締めて学生指導にあたりたいと思います。

### ③就職

本科では、上記の2項目に加えて、社会のニーズにこたえられる実践力をもった管理栄養士養成に力を入れています。実践力は、様々な実習・演習・研修などの体験により養っており、その効果もあり、専攻科開設以来、就職率は100%を毎年維持しています。

## 富山国際大学附属高等学校

### (1) 平成27年度生徒募集活動及び平成28年度入学者数

前年度に引き続きICT授業の公開研究会（2回実施）、テレビコマーシャル、オープンキャンパスを取り入れ、本校のアピール・関心を深めて貰うことに努めました。

また、各中学校で開催される説明会で、本校の特徴であるICT教育、国際交流、ユネスコ活動やスクールバスについて直接生徒や保護者に理解を得られるよう解りやすい工夫等で熱心に説明を行いました。

平成28年度の入学定員250名に対し入学者319名、定員充足率〔在籍学生数/収容定員〕128%となりました。

平成24年、25年度の2年間に渡り、入学定員の20%超過が続き、経常費補助金の減額交付となりました。これを機会に平成26年度の入試から、ボーダーラインを上げる調整措置を行い、入学者を厳選することが出来、併せて適正な入学者数を確保しています。

### (2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

#### ① 施設・設備整備

(i) ICT教育の推進とインフラ整備【継続】19,476,126円（内、国補助：3,767,000円、県補助：5,661,000円）

その1：無線LAN化に係る未実施施設整備と増強

未実施分のCR11/情報室/調理室/美術室/書道室/大会議室/職員室と増強分の1,2学年教室の無線LAN整備を実施しました。

その2：普通教室等のプロジェクタ設置

授業等で教員及び生徒がiPadを使用する際、プロジェクタを使用します。普通教室等でiPadを使用する授業等が日常的になっているため、対象となる27教室に設置しました。

(ii) ネットワーク環境の保守 1,550,000円

平成26年度に落雷によるサーバのデータ消失のため、校務運営上甚大な被害があり、復旧に係る費用と時間は相当なものでした。今後このような事態が起こらないよう、サーバ等が保管されている電算室の雷対策工事を実施しました。

(iii) グランドのメンテナンスと改修【継続】1,885,000円

開設以来50年近く、メンテナンスや改修が未実施（野球部のダイヤモンドは除く）のため、昨年度、一部についてメンテナンスを実施しましたが、その他の箇所は、使用できる表面部分が数センチの状態であり、今年度も継続してメンテナンスを実施しました。

(iv) 理科教育設備【継続】2,004,808円（内、国補助：1,002,000円）

理科科目の授業用機器備品を整備しました。

(v) 50周年寄付金記念事業

国際交流ディスプレイ設備及び世界地図の設置 3,666,600円

「世界各国の状況（海外提携校含む）、本校生徒の留学先での生活、本校を訪れる外国人留学生の状況、その他本校の活動全般」を大型ディスプレイや世界地図等により一目でわかるように表現できる環境を本館1Fエントランスホールに設置しました。

#### ② 教育研究活動

(i) ICT（Information Communication Technology）教育の推進

平成25年度に1学年国際英語コース全員がiPadを購入し、パイロットモデルクラスとしてタブレット

端末を使った ICT 教育の可能性、効果を研究してきました。平成 26 年度は新入生全生徒が同様に iPad を購入し、授業をはじめ学校生活のあらゆる場面で ICT を利用する教育体制を構築してきました。平成 27 年度は全国規模の ICT 公開授業研究会を 2 度開催し、県内外から多くの教職員、研究者、企業が見学し、高い評価を得ました。平成 28 年度からは全校生徒が iPad を持つ ICT 教育推進校となります。本校の ICT 教育は多方面から注目を集めており、今後も公開授業やオープンキャンパスで全国に教育的特色を発信し、教育の質の向上と入学者の確保に努めていきます。

(ii) 国際交流活動の推進と学校のグローバル化

平成 26 年度に新たに中国の潞河中学(ルーハー高校)と姉妹校提携を結び姉妹校は 5 校となりました。今年度中にアメリカ 2 校、タイ 1 校と提携を予定しています。こうした学校との交流活動は、相手校を訪問するばかりでなく相手校からの生徒の受入れ数も増えることでホストファミリーの体験家庭も著しく増加しており、学校ばかりでなく生徒の家庭のグローバル化も徐々に進んでいます。

数年前から日本語のできない外国籍生徒に対し、英語のペーパーテストと面接による特別入試を実施しています。また、こうした生徒に対する特別カリキュラムが整っていることもあり、外国籍生徒や日本国籍でも日本語が不自由な入学生も少なくありません。こうした生徒の存在は学校全体のグローバル化に大きく貢献しています。

このネットワークを活用し、今後は生徒による主体的なプロジェクトを展開し、姉妹校・協力校との協働研究を実施する中で、本校生徒のグローバル・リーダーとしての資質をさらに育てる計画を進めています。**(主な国際交流の状況は別表 3 参照)**

(iii) 課外活動

運動部ではテニス部男女、バドミントン部、柔道部、弓道部が、文化部では、新聞部、英語部、メディアテクノロジー部、放送部が全国大会出場を果たし、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、それぞれが優秀な成績を収めています。

特に、メディアテクノロジー部は全国大会で最優秀賞を受賞しました。

平成 27 年度惜しくも全国大会出場を逃した部にあっても、今後の活躍が期待できる部活動は多くあります。

どの部活動も今年度はさらに実力をつけ各大会、全国大会の上位を目指し毎日活発に活動に励んでいます。

**(主な課外活動の状況は別表 4 参照)**

### ③進路状況

地元の富山大学や金沢大学をはじめとする国公立大学に 7 名の合格、明治、青山学院、法政大学をはじめとする私立大学に 95 名の合格者を出しました。

就職希望者 45 名全員が就職しました。

併設校へは、富山国際大学に 15 名の合格で 12 名の進学、富山短期大学へは 47 名の合格で 43 名の進学となりました。

また、グローバル・リーダーの育成を進める本校では海外の大学進学者も増えつつあり、今年は 7 名が進学しました。

## 富山短期大学附属みどり野幼稚園

### (1) 平成 27 年度園児募集活動及び平成 28 年度入園児数

県内の幼稚園児数の減少が加速し、幼稚園が認定子ども園に移行し、また廃園する園も出てきています。さらに、ほとんどの園が 2 歳児からの受入れを実施して園児を確保しています。

28 年度入園児数は、部屋の数の関係で、3 歳児は 1 クラスにしなければならないことから 30 名募集し、募集後すぐに定員に達しました。

本園の保育内容や園庭の自然環境への評価が高く、保護者の口コミを通して富山市の中心部や婦中町より園児が集まっています。

平成 28 年度は、年少児の受け入れを押さえたこともあり、前年度より若干園児数は減少しましたが、5 月 10 日現在で 98 名となり、定員充足率は 1.15 (前年度 1.20) とほぼ前年度並みの園児数を確保しました。

## (2) 重点目標・活動計画及び取組み

### ①園舎改築を含めた幼稚園将来計画の具体化

園内でみどり野幼稚園改築構想委員会を立ち上げ検討を継続しています。

これまでの検討の中で、幼稚園型の認定子ども園へ移行する方向で進んでおり、新園舎の規模や設計等についての検討が進行中です。28年度は、耐震診断を行います。今後、養成校の付属としての役割や本園の保育理念に基づいた今後の園のビジョンをより明確にしながら、29年度からの園舎の改築に向けた準備を進めたいと思っています。

### ②子育ての支援・保護者との連携

未就園児親子クラブ等で、幼児教育学科や子ども育成学部の協力を得ながら未就園児の子育て支援を充実させるとともに、保護者の就労や緊急な用事の場合の預かり保育の充実などを行ってきました。

家庭と園が一体となって子どもの健やかな育ちをめざし、保護者会の活動や父親の会の活動を積極的に進めています。特に10年前に県内幼稚園では最初に作られた「父親の会」の活動もますます活発となり、父親が積極的に園の行事等に参加したり、園庭の整備や遊び大会の企画などを行っています。

保護者が中心となって幼児サッカーの指導を行っており、幼児ソフトサッカー大会では優秀な成績を残しています。

### ③研究・研修

子育て環境の変化等により、園児の実態や保護者の子育てに対する考え方の変化等もあるため、これまでの教育課程を見直すと同時に、園内の保育環境や園庭の自然環境、園外の自然を活用した保育を行うための指導計画の再検討を行い、子ども自ら主体的に活動し、その中でたくさんの学びが得られるような指導計画を作成するための研究・研修を行って行きたいと思っています。

### ④付属園としての実習受け入れ・大学短大との連携

富山短期大学幼児教育学科1年生、富山国際大学子ども育成学部1年生の実習を本園で行いました。いずれの学生とも現場での初めての实習であり、幼稚園教育要領に基づいた保育を学ぶと同時に、子どものすばらしさ、保育の楽しさを実感できるよう指導しました。

幼児教育学科、子ども育成学部の研究協力や教職実践演習等の授業への協力も本園教諭が行っています。

### ⑤施設設備

施設設備が老朽化してきていますが、日々の保育において、安全に目を配ると同時に、応急的に対応できる部分についてはしっかりと対策を講じてきました。また、園児数に対応できていない施設設備（保育室、トイレ等の数）については、工夫しながら対応しました。

園庭遊具を保護者の協力により補修整備し、新しく作りました。

## 富山国際大学

<b>国庫補助金(競争的補助金)</b>	<b>3件</b>	<b>66,462千円</b>
地(知)の拠点大学による地方創生推進事業		18,485千円
平成27年度私立大学教育研究活性化設備整備費補助金		15,977千円
私立大学等経営強化集中支援事業		32,000千円
<b>科学研究費助成事業等</b>	<b>16件</b>	<b>14,890千円</b>
琉球の近世計画村落形成に伝統的祭祀施設と村抱護が果たした役割と意味に関する研究		
高対塵性・低環境負荷な低回転ボルテックス水車の動作解析と設計指針の開発		
地方議会の意思決定に有用な財務報告に関する研究		
子どもの室内空気汚染物質への曝露評価および健康リスク低減に向けての提案		
保育ソーシャルワーカー導入に向けた養成支援システム構築に関する実証研究		
介護者のケアマネジメントにおけるアセスメントツールの開発		
「教育」概念によって統合された法制度の形成過程についての歴史的研究		
認定こども園における遊びの質を保障する園庭環境評価基準(幼児版)の試案作成		
青年期の双極性障害における自傷行為の機序に関する研究		
有明工業高等専門学校【分担金】		
中部大学【分担金】		
横浜国立大学【分担金】		
愛知県立大学【分担金】		
明治大学【分担金】		
南山大学【分担金】		
京都大学【分担金】		
<b>富山県ひとづくり財団</b>	<b>7件</b>	<b>3,464千円</b>
富山国際大学国際交流フォーラム		
富山国際大学現代社会学部公開シンポジウム		
富山国際大学子ども育成学部第7回公開セミナー		
富山国際大学第7回子ども育成フォーラム		
富山国際大学学生募集確保事業		
就職促進事業		
富山国際大学エクステンション・カレッジ特別講演会		
<b>富山第一銀行奨学財団</b>	<b>8件</b>	<b>2,150千円</b>
北陸新幹線開業に伴う富山県観光の変化に関する研究		
八尾町桐谷地区における地域資源ポテンシャルの推計とエネルギー自立の可能性調査		
実践型人材育成教育に関する研究ー学外学修プログラムの開発ー		
富山における小学校英語の現状とこれから～録画授業の分析を通して～		
保育ソーシャルワーク教育課程設置に向けたカリキュラムおよび教材開発に関する研究		
「新しい時代に向けた教員養成の在り方」ー大学の役割と責任ー		
相談支援従事者育成のためのグループスーパービジョンの研究		
地域社会の活性化に向けた知の拠点としての大学の実践的研究		
<b>その他</b>	<b>1件</b>	<b>278千円</b>
(仮称)南砺ポイントに関する調査研究		

## 富山短期大学

<b>国庫補助金(競争的補助金)</b>	<b>4件</b>	<b>58,016千円</b>
大学教育再生加速プログラム		15,454千円
平成27年度私立大学教育研究活性化設備整備費補助金		6,021千円
地(知)の拠点大学による地方創生推進事業		1,541千円
私立大学等経営強化集中支援事業		35,000千円
<b>科学研究費助成事業等</b>	<b>2件</b>	<b>2,085千円</b>
新しい動脈硬化指標CAVIを用いた生活習慣病予防のための脂質摂取に関する研究		
学生着席モデルを用いた講義室空間改善へのアプローチ		
<b>富山県ひとづくり財団</b>	<b>5件</b>	<b>1,185千円</b>
富山短期大学2015公開講座		
経営情報学科公開講座		
専攻科食物栄養専攻 公開特別講演会		
食物栄養学科 公開特別講演会		
第43回幼児教育研究会		
<b>富山第一銀行奨学財団</b>	<b>5件</b>	<b>800千円</b>
次世代に伝え継ぐ 富山の家庭料理		
必要エネルギーと体質を考慮した地域住民の生活習慣病の予防・改善のための栄養指導		
家庭の食事と青年の心理的側面の発達との関連の検討		
資格取得をふまえた短期大学の簿記会計教育におけるアクティブ・ラーニングの取組みの一考察		
SNSの利用による主体的受講態度の向上にむけた研究		
<b>その他</b>	<b>1件</b>	<b>1,470千円</b>
とやま福祉人材確保緊急プロジェクト		

## 国際交流状況

2016年4月27日 現在

富山国際大学附属高等学校

## ◇本校生の海外長期留学派遣状況

	～2000	2001度	2002度	2003度	2004度	2005度	2006度	2007度	2008度	2009度	2010度	2011度	2012度	2013度	2014度	2015度	合計
アメリカ	7	11	1	2	9	3	10	7	7	4	5	4	6	5	6	7	94
カナダ	6	2	1	4	1	3		2		5	5	3	2	5	2	2	43
イギリス	2	1	1	1	1			1	1						1		9
オーストラリア	8	2	3	2		2						1	2	1		2	23
ニュージーランド	6													1			7
ドイツ					2									1			3
アイルランド				1									1	1		1	4
ヴェネズエラ	1																1
韓国						1											1
ハンガリー						1											1
オランダ							1										1
タイランド														1			1
台湾	1																1
スウェーデン										1		1					2
スペイン														1			1
合計	31	16	6	10	13	10	11	10	8	10	10	9	11	16	9	12	192
1年間	30	13	6	10	13	10	11	10	8	9	10	7	11	14	9	12	183
半年間～1年間	1											1		1			3
半年以下		3								1		1		1			6

## ◇外国人留学生受入状況

	～2000	2001度	2002度	2003度	2004度	2005度	2006度	2007度	2008度	2009度	2010度	2011度	2012度	2013度	2014度	2015度	合計
アメリカ	1	7	1	3	4	3	7	18	14	23	13	2	24	13	14	2	149
カナダ	2				1			1	1								5
オーストラリア	5	1	1	2	2	2	3	2	1	1	2	1	5	1	17	64	110
ニュージーランド	67	1	1	1	1	1	11		11	1	14			14		9	132
オランダ					1	1	1										3
韓国							1				1						2
ドイツ									1				1		2		4
ネパール		5															5
フィンランド											1						1
フィリピン								1									1
コスタリカ														1			1
フランス																1	1
イタリア															1		1
合計	75	14	3	6	9	7	23	22	28	25	31	3	30	29	34	76	415
1年間	13	2	3	3	3	2	3	2	2	2	2		3	4	3	4	51
半年間～1年間	3				1	1					1				2		8
2ヶ月～半年間				3	5	4	7	1	1							1	22
2ヶ月間未満	59	12					13	19	25	23	28	3	27	25	29	71	334

## ◇海外の大学進学状況

	～2000	2001度	2002度	2003度	2004度	2005度	2006度	2007度	2008度	2009度	2010度	2011度	2012度	2013度	2014度	2015度	合計
	20	5	2	3	2	1	3		1		1		1	1		7	47

## ◇語学研修状況

	～2000	2001度	2002度	2003度	2004度	2005度	2006度	2007度	2008度	2009度	2010度	2011度	2012度	2013度	2014度	2015度	合計
アメリカ	298	19	28	34	23	30	19	24	33	28	25	19	25	30	28	28	691

## ◇海外研修状況

	～2000	2001度	2002度	2003度	2004度	2005度	2006度	2007度	2008度	2009度	2010度	2011度	2012度	2013度	2014度	2015度	合計
ニュージーランド	95		1	17	9	10	9	6	16	11			8		9		191
シンガポール	20		12	18	25	44	71	46	53	35	48	61	24	112	50	51	670
韓国	25	19	63	74									25	30	28		264
サイパン							38	22	56	47							163
グアム			22		52	54											128
オーストラリア			32								45	51	69	56	81	69	403
オーストラリア(姉妹校)														24		10	34
タイ				23													23
中国					29											10	39
台湾											50	13	25				88
フィリピン														34			34
イギリス・フランス															35		35
合計	140	19	130	132	115	108	118	74	125	93	143	125	151	256	203	140	2072

## 平成27年度 部活動大会記録(全国大会等)

富山国際大学付属高等学校

部 名	大会 名	種 目	成 績	学年	選手名	摘 要
テ ニ ス	県高校総体	男子団体	優勝			全国高校総体大会出場
		女子団体	優勝			
		男子シングルス	優勝	3	谷井 優希	
		女子シングルス	優勝	2	板谷 里音	
		男子ダブルス	優勝	3	松井 雄毅 末永 極	
	北信越高校総体	男子団体	3位			
女子団体		3位				
女子ダブルス		2位	2	板谷 里音 松村 美咲	全国高校総体大会出場	
バドミントン	県高校総体	女子団体	優勝			全国高校総体大会出場
		女子ダブルス	優勝	3	福島 里彩 佐々木 絢子	
		女子シングルス	優勝	3	種岡 遥	
	北信越高校総体	女子団体	2位			
柔 道	県高校総体	男子団体	2位			北信越大会出場
		個人100kg超級	優勝	3	田村 優亘	全国大会出場
	北信越高校総体	個人100kg超級	2位	3	田村 優亘	
弓 道	県高校総体	男子個人	3位	2	江尻 悠真	北信越大会出場
放 送	県NHK放送コンテスト	ラジオドキュメント	優秀賞			NHK全国高校放送コンテスト出場
		テレビドキュメント	優秀賞			
		研究発表	優秀賞			
新 聞	全国高校総合文化祭	年間紙面審査	優良賞			
英 語	県高校生英語ディベート	団体	2位			全国大会出場
	ホノルル市長杯 第45回全日本青少年英語弁論大会	スピーチ	2位	2	梶谷 笑菜	
	第5回上智大学 全国高校生英語弁論大会	スピーチ	2位	2	ワトソ ミキル	
	第17回全国高校生英語 スピーチコンテスト	スピーチ	2位	2	櫻井 アイナ	
メディア・テクノロジー	第4回データビジネス創造コンテスト 「データと創造力で子育てに笑顔を！」 ～Digital inovatos Grand Brix(Dig) Parenting insight		最優秀賞			

# IV 決算及び財務状況

## 1. 資金収支計算書

### 資金収支計算書

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

(単位 千円)

収入の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
学生生徒等納付金収入	1,879,687	1,899,413	△ 19,726	
手数料収入	37,285	36,289	996	
寄付金収入	5,792	6,496	△ 704	
補助金収入	726,142	687,421	38,721	
国庫補助金収入	438,874	387,374	51,500	
地方公共団体補助金収入	267,023	279,961	△ 12,938	
その他補助金収入	20,245	20,086	159	
資産売却収入	1	0	1	
付随事業・収益事業収入	78,706	58,153	20,553	
受取利息・配当金収入	10,220	7,428	2,792	
雑収入	61,544	65,129	△ 3,585	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	466,991	446,426	20,565	
その他の収入	295,248	258,126	37,122	
資金収入調整勘定	△ 547,253	△ 572,541	25,288	
前年度繰越支払資金	919,362	919,361	1	
収入の部合計	3,933,725	3,811,701	122,024	
支出の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
人件費支出	1,605,787	1,596,623	9,164	
教育研究経費支出	598,061	532,037	66,024	
管理経費支出	131,179	122,315	8,864	
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	7,937	7,334	603	
設備関係支出	116,516	108,004	8,512	
資産運用支出	586,397	567,509	18,888	
その他の支出	203,548	202,596	952	
	( 0 )			
[予備費]	15,500		15,500	
資金支出調整勘定	△ 76,200	△ 83,468	7,268	
翌年度繰越支払資金	745,000	758,751	△ 13,751	
支出の部合計	3,933,725	3,811,701	122,024	

## 2. 活動区分資金収支計算書

## 活動区分資金収支計算書

平成27年 4月 1日  
平成28年 3月31日

(単位:千円)

		科目	金額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,899,413	
		手数料収入	36,289	
		特別寄付金収入	6,196	
		一般寄付金収入	300	
		経常費等補助金収入	676,991	
		付随事業収入	58,153	
		雑収入	65,120	
		<b>教育活動資金収入計(1)</b>	<b>2,742,462</b>	
	支出	人件費支出	1,596,623	
		教育研究経費支出	532,037	
管理経費支出		122,243		
<b>教育活動資金支出計(2)</b>		<b>2,250,903</b>		
差引(3)=(1)-(2)		491,559		
調整勘定等(4)		△ 16,310		
<b>教育活動資金収支差額(5)=(3)+(4)</b>		<b>475,249</b>		
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	0	
		施設設備補助金収入	10,430	
		施設設備売却収入	0	
		<b>施設整備等活動資金収入計(6)</b>	<b>10,430</b>	
	支出	施設関係支出	7,334	
		設備関係支出	108,004	
		短大新校舎同総会施設等引当特定資産繰入支出	11,000	
		<b>施設整備等活動資金支出計(7)</b>	<b>126,338</b>	
	差引(8)=(6)-(7)		△ 115,908	
	調整勘定等(9)		△ 4,110	
<b>施設整備等活動資金収支差額(10)=(8)+(9)</b>		<b>△ 120,018</b>		
<b>小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)(11)=(5)+(10)</b>		<b>355,231</b>		
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	0	
		退職給与引当特定資産取崩収入	29,715	
		学園充実引当資産取崩収入	4,001	
		修学旅行費預り資産取崩収入	135	
		<b>小 計</b>	<b>33,851</b>	
	その他の活動資金収入計(12)	受取利息・配当金収入	7,428	
		過年度修正収入	9	
		<b>その他の活動資金収入計(12)</b>	<b>41,288</b>	
		支出	借入金等返済支出	0
			第3号基本金引当特定資産繰入支出	6
			退職給与引当特定資産繰入支出	31,649
	学園充実引当資産繰入支出		524,854	
	預り金支払支出		413	
	修学旅行費預り金支払支出		135	
	<b>小 計</b>	<b>557,057</b>		
	その他の活動資金支出計(13)	借入金等利息支出	0	
過年度修正支出		72		
<b>その他の活動資金支出計(13)</b>		<b>557,129</b>		
差引(14)=(12)-(13)		△ 515,841		
調整勘定等(15)		0		
<b>その他の活動資金収支差額(16)=(14)+(15)</b>		<b>△ 515,841</b>		
<b>支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)(11)+(16)</b>		<b>△ 160,610</b>		
前年度繰越支払資金		919,361		
翌年度繰越支払資金		758,751		

3. 事業活動収支計算書

## 事業活動収支計算書

平成27年 4月 1日から  
平成28年 3月31日まで

(単位 千円)

		科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,879,687	1,899,413	△ 19,726	
		手数料	37,285	36,289	996	
		寄付金	7,494	7,043	451	
		経常費等補助金	726,142	676,990	49,152	
		国庫補助金	438,874	382,604	56,270	
		地方公共団体補助金	267,023	274,300	△ 7,277	
		その他補助金	20,245	20,086	159	
		付随事業収入	78,706	58,153	20,553	
		雑収入	61,545	73,108	△ 11,563	
		教育活動収入計	2,790,859	2,750,996	39,863	
		教育活動支出の部	事業活動支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額
人件費	1,615,787			1,606,492	9,295	
教育研究経費	903,061			827,884	75,177	
管理経費	133,179			124,109	9,070	
徴収不能額等	1			0	1	
教育活動支出計	2,652,028			2,558,485	93,543	
		教育活動収支差額	138,831	192,511	△ 53,680	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
		受取利息・配当金	10,220	7,428	2,792	
		その他の教育活動外収入	1	0	1	
			教育活動外収入計	10,221	7,428	2,793
	事業活動支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
		借入金等利息	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	
		教育活動外収支差額	10,221	7,428	2,793	
		経常収支差額	149,052	199,939	△ 50,887	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
		資産売却差額	1	0	1	
		その他の特別収入	4	15,743	△ 15,739	
			特別収入計	5	15,743	△ 15,738
	事業活動支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
		資産処分差額	9,700	2,759	6,941	
		その他の特別支出	1	72	△ 71	
		特別支出計	9,701	2,831	6,870	
		特別収支差額	△ 9,696	12,912	△ 22,608	
〔予備費〕		( 0 )	15,500	15,500		
		基本金組入前当年度収支差額	123,856	212,851	△ 88,995	
		基本金組入額合計	△ 80,963	△ 95,479	14,516	
		当年度収支差額	42,893	117,372	△ 74,479	
		前年度繰越収支差額	△ 2,832,676	△ 2,832,676	0	
		基本金取崩額	0	0	0	
		翌年度繰越収支差額	△ 2,789,783	△ 2,715,304	△ 74,479	
(参考)						
		事業活動収入計	2,801,085	2,774,167	26,918	
		事業活動支出計	2,677,229	2,561,316	115,913	

## 4. 貸借対照表

## 貸借対照表

平成28年3月31日

(単位 千円)

資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定資産</b>		<b>11,782,367</b>	<b>11,429,501</b>	<b>352,866</b>
有形固定資産		8,471,031	8,651,957	△ 180,926
	土地	393,929	393,929	0
	建物	6,537,874	6,749,639	△ 211,765
	その他の有形固定資産	1,539,228	1,508,389	30,839
特定資産		624,898	611,958	12,940
その他の固定資産		2,686,438	2,165,586	520,852
流動資産		864,445	1,163,272	△ 298,827
	現金預金	758,751	919,361	△ 160,610
	その他の流動固定資産	105,694	243,911	△ 138,217
<b>資産の部合計</b>		<b>12,646,812</b>	<b>12,592,773</b>	<b>54,039</b>

負債の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定負債</b>		<b>600,372</b>	<b>598,439</b>	<b>1,933</b>
	長期借入金	0	0	0
	その他の固定負債	600,372	598,439	1,933
流動負債		579,867	740,612	△ 160,745
	短期借入金	0	0	0
	その他の流動負債	579,867	740,612	△ 160,745
<b>負債の部合計</b>		<b>1,180,239</b>	<b>1,339,051</b>	<b>△ 158,812</b>

純資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
<b>基本金</b>		<b>14,181,877</b>	<b>14,086,398</b>	<b>95,479</b>
	第1号基本金	13,972,352	13,876,879	95,473
	第2号基本金	0	0	0
	第3号基本金	13,525	13,519	6
	第4号基本金	196,000	196,000	0
繰越収支差額		△ 2,715,304	△ 2,832,676	117,372
	翌年度繰越収支差額	△ 2,715,304	△ 2,832,676	117,372
<b>純資産の部合計</b>		<b>11,466,573</b>	<b>11,253,722</b>	<b>212,851</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>		<b>12,646,812</b>	<b>12,592,773</b>	<b>54,039</b>

## 5. 財産目録

# 財 産 目 録

I 資産総額		12,646,812	千円
内 基本財産		8,472,351	千円
運用財産		4,174,461	千円
収益事業用財産		0	千円
II 負債総額		1,180,239	千円
III 正味財産		11,466,573	千円

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	182,714 m <sup>2</sup> 393,929 千円
建物	51,743 m <sup>2</sup> 6,537,874 千円
図書	231,584 冊 933,872 千円
教具・校具・備品	11,694 点 459,834 千円
その他	146,842 千円
2 運用財産	
現金預金	758,751 千円
その他	3,415,710 千円
3 収益事業用財産	0 千円
資産総額	12,646,812 千円
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	0 千円
その他	600,372 千円
2 流動負債	
短期借入金	0 千円
その他	579,867 千円
負債総額	1,180,239 千円
正味財産(資産総額－負債総額)	11,466,573 千円

# 6. 部門別事業活動収支決算内訳表

参 考

(単位:千円)

活動区分	部 門		総 額	大 学	短 大	高 校	幼 稚 園	法 人	
	科 目								
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,899,413	801,966	696,597	373,582	27,268	0	
		手数料	36,289	12,935	14,137	9,184	33	0	
		寄付金	7,043	1,530	1,300	3,667	546	0	
		経常費等補助金	676,990	215,765	173,162	265,502	22,561	0	
		付随事業収入	58,153	9,308	17,733	25,295	5,817	0	
		雑収入	73,108	41,301	30,062	1,115	0	630	
		教育活動収入合計 (1)	2,750,996	1,082,805	932,991	678,345	56,225	630	
	事業活動支出の部	人件費	1,606,492	582,109	528,564	415,821	45,057	34,941	
		教育研究経費	827,884	325,298	283,970	199,719	18,897	0	
		管理経費	124,109	52,393	41,551	13,283	730	16,152	
		徴収不能額等	0	0	0	0	0	0	
		教育活動支出合計 (2)	2,558,485	959,800	854,085	628,823	64,684	51,093	
	教育活動収支差額 (3)=(1)-(2)			192,511	123,005	78,906	49,522	△ 8,459	△ 50,463
	教育活動外収支	収事業の活動部	受取利息・配当金	7,428	201	174	0	0	7,053
その他の教育活動外収入			0	0	0	0	0	0	
教育活動外収入合計 (4)			7,428	201	174	0	0	7,053	
支事業の活動部		借入金等利息	0	0	0	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0	
		教育活動外支出合計 (5)	0	0	0	0	0	0	
教育活動外収支差額 (6)=(4)-(5)			7,428	201	174	0	7,053		
経常収支差額 (7)=(3)+(6)			199,939	123,206	79,080	49,522	△ 8,459	△ 43,410	
特別収支	収事業の活動部	資産売却差額	0	0	0	0	0	0	
		その他の特別収入	15,743	2,125	706	12,912	0	0	
		特別収入合計 (8)	15,743	2,125	706	12,912	0	0	
	支事業の活動部	資産処分差額	2,759	74	2,678	7	0	0	
		その他の特別支出	72	△ 1	0	1	72	0	
		特別支出合計 (9)	2,831	73	2,678	8	72	0	
	特別収支差額 (10)=(8)-(9)			12,912	2,052	△ 1,972	12,904	△ 72	0
基本金組入前当年度収支差額 (11)=(7)+(10)			212,851	125,258	77,108	62,426	△ 8,531	△ 43,410	
基本金組入額合計 (12)			△ 95,479	△ 42,233	△ 27,144	△ 25,816	△ 280	△ 6	
当年度収支差額 (13)=(11)+(12)			117,372	83,025	49,964	36,610	△ 8,811	△ 43,416	
前年度繰越収支差額 (14)			△ 2,832,676	—	—	—	—	—	
基本金取崩額 (15)			0	—	—	—	—	—	
翌年度繰越収支差額 (16)=(13)+(14)+(15)			△ 2,715,304	—	—	—	—	—	

(参考)

事業活動収入合計 (1)+(4)+(8)	2,774,167	1,085,131	933,871	691,257	56,225	7,683
事業活動支出合計 (2)+(5)+(9)	2,561,316	959,873	856,763	628,831	64,756	51,093
事業活動収入合計－事業活動支出合計 ＝基本金組入前当年度収支差額	212,851	125,258	77,108	62,426	△ 8,531	△ 43,410

# 7. 部門別事業活動収支決算額推移表

参 考

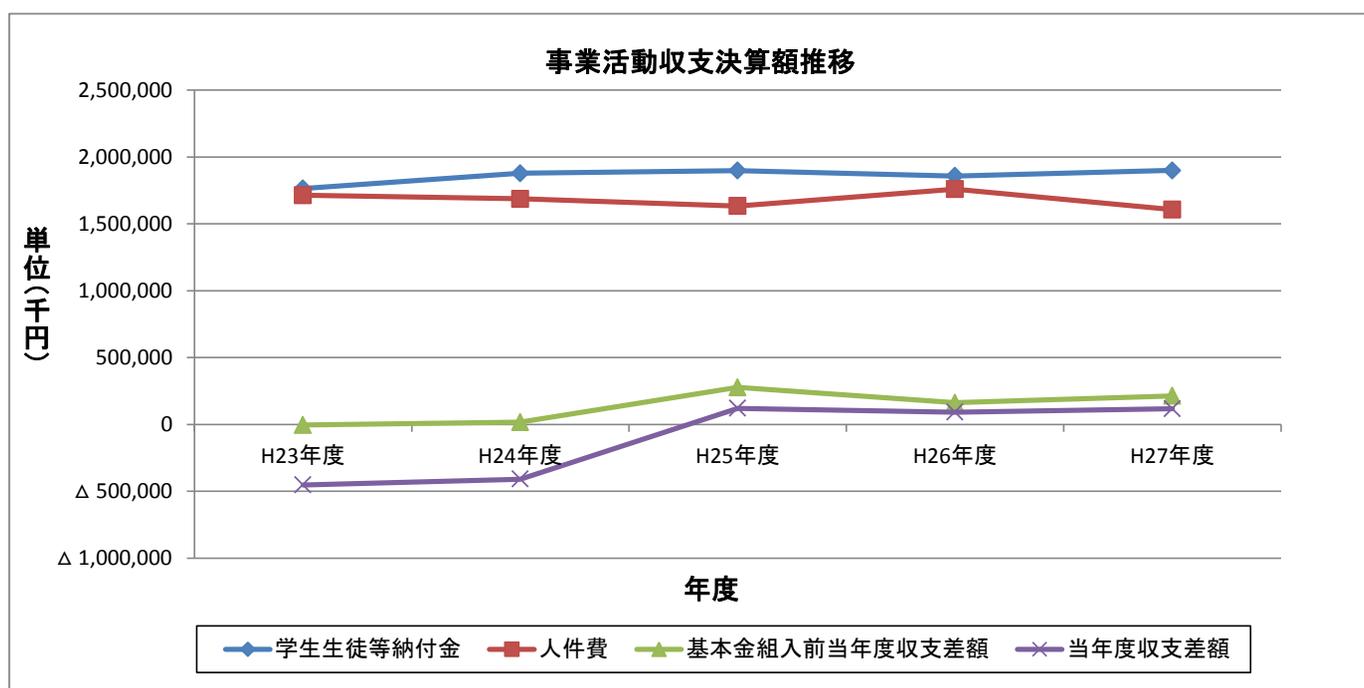
## 富山国際学園 決算額推移表

(単位:千円)

活動区分	年 度		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	
	科 目							
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,763,784	1,878,350	1,897,993	1,857,538	1,899,413	
		手数料	34,306	34,779	34,972	39,290	36,289	
		寄付金	15,450	42,598	52,848	21,983	7,043	
		経常費等補助金	551,976	511,051	637,963	664,463	676,990	
		付随事業収入	78,357	75,252	93,631	87,838	58,153	
		雑収入	162,642	216,306	97,042	204,593	73,108	
		教育活動収入合計 (1)	2,606,515	2,758,336	2,814,449	2,875,705	2,750,996	
	支事業の活動	人件費	1,713,802	1,686,869	1,633,639	1,760,364	1,606,492	
		教育研究経費	776,383	838,143	774,892	818,943	827,884	
		管理経費	131,736	120,841	147,565	128,691	124,109	
		徴収不能額等	0	0	530	1,522	0	
		教育活動支出合計 (2)	2,621,921	2,645,853	2,556,626	2,709,520	2,558,485	
	教育活動収支差額 (3)=(1)-(2)			△ 15,406	112,483	257,823	166,185	192,511
	教育活動外収支	収入の活動	受取利息・配当金	29,747	32,631	32,092	8,155	7,428
その他の教育活動外収入			0	0	0	0	0	
教育活動外収入合計 (4)			29,747	32,631	32,092	8,155	7,428	
支事業の活動		借入金等利息	3,113	536	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	
		教育活動外支出合計 (5)	3,113	536	0	0	0	
教育活動外収支差額 (6)=(4)-(5)			26,634	32,095	32,092	8,155	7,428	
経常収支差額 (7)=(3)+(6)			11,228	144,578	289,915	174,340	199,939	
特別収支	収入の活動	資産売却差額	0	20,489	0	0	0	
		その他の特別収入	0	0	0	0	15,743	
		特別収入合計 (8)	0	20,489	0	0	15,743	
	支事業の活動	資産処分差額	16,334	147,902	12,928	12,473	2,759	
		その他の特別支出	0	0	0	0	72	
		特別支出合計 (9)	16,334	147,902	12,928	12,473	2,831	
特別収支差額 (10)=(8)-(9)			△ 16,334	△ 127,413	△ 12,928	△ 12,473	12,912	
基本金組入前当年度収支差額 (11)=(7)+(10)			△ 5,106	17,165	276,987	161,867	212,851	
基本金組入額合計 (12)			△ 447,446	△ 426,221	△ 156,358	△ 69,685	△ 95,479	
当年度収支差額 (13)=(11)+(12)			△ 452,552	△ 409,056	120,629	92,182	117,372	

(参考)

事業活動収入合計 (1)+(4)+(8)	2,636,262	2,811,456	2,846,541	2,883,860	2,774,167
事業活動支出合計 (2)+(5)+(9)	2,641,368	2,794,291	2,569,554	2,721,993	2,561,316



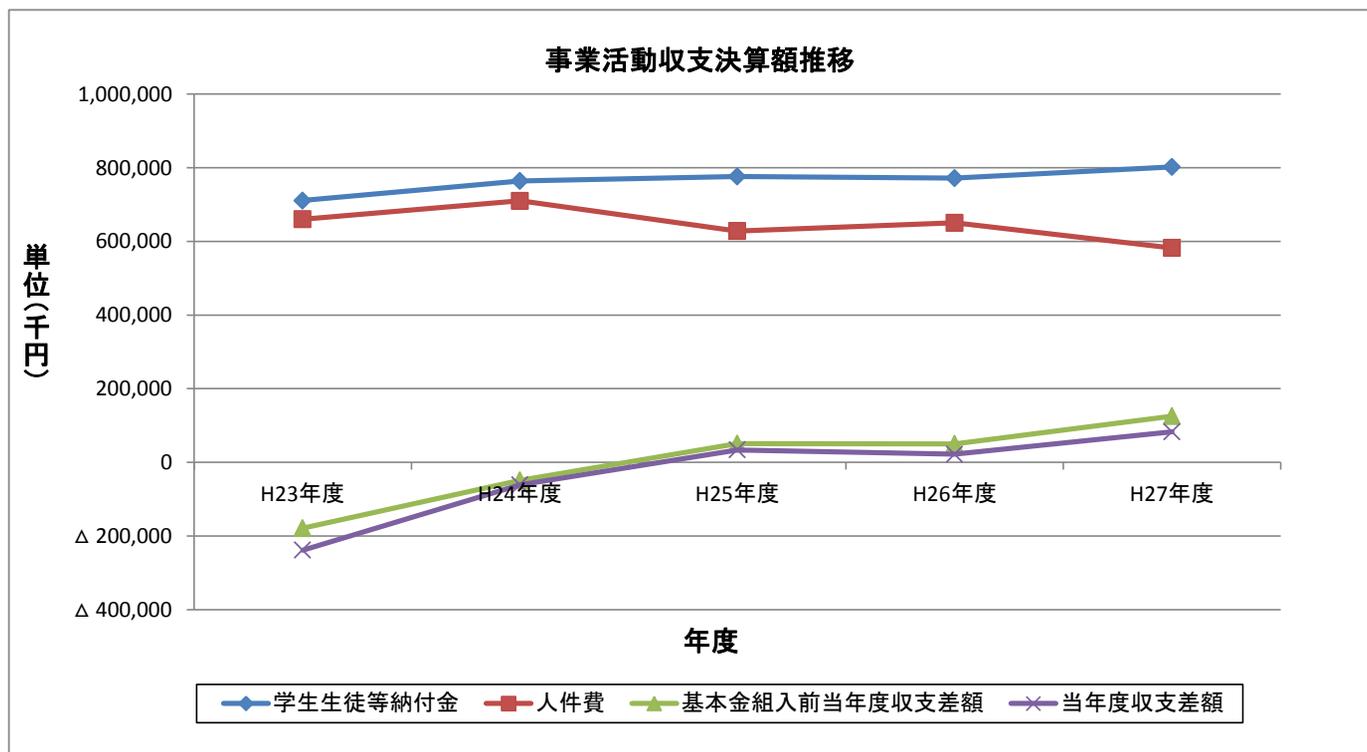
富山国際大学 決算額推移表

(単位:千円)

活動区分	年度		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
	科目						
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	710,828	763,937	776,210	771,544	801,966
		手数料	10,374	12,103	13,423	14,128	12,935
		寄付金	8,895	5,322	7,126	18,558	1,530
		経常費等補助金	167,565	124,894	216,102	185,219	215,765
		付随事業収入	17,936	13,123	22,814	20,599	9,308
		雑収入	24,293	149,630	33,521	74,794	41,301
		教育活動収入合計(1)	939,891	1,069,009	1,069,196	1,084,842	1,082,805
	支事業の活動	人件費	660,229	709,935	627,743	650,076	582,109
		教育研究経費	388,498	355,683	339,265	326,962	325,298
		管理経費	68,361	48,887	49,935	54,108	52,393
		徴収不能額等	0	0	0	1,522	0
	教育活動支出合計(2)	1,117,088	1,114,505	1,016,943	1,032,668	959,800	
	教育活動収支差額(3)=(1)-(2)		△ 177,197	△ 45,496	52,253	52,174	123,005
	教育活動外収支	収入の活動	受取利息・配当金	177	191	194	193
その他の教育活動外収入			0	0	0	0	0
教育活動外収入合計(4)			177	191	194	193	201
支事業の活動		借入金等利息	1,893	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出合計(5)	1,893	0	0	0	0
教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)		△ 1,716	191	194	193	201	
経常収支差額(7)=(3)+(6)		△ 178,913	△ 45,305	52,447	52,367	123,206	
特別収支	収入の活動	資産売却差額	0	0	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0	0	2,125
		特別収入合計(8)	0	0	0	0	2,125
	支事業の活動	資産処分差額	198	3,652	1,496	2,004	74
		その他の特別支出	0	0	0	0	△ 1
		特別支出合計(9)	198	3,652	1,496	2,004	73
特別収支差額(10)=(8)-(9)		△ 198	△ 3,652	△ 1,496	△ 2,004	2,052	
基本金組入前当年度収支差額(11)=(7)+(10)		△ 179,111	△ 48,957	50,951	50,363	125,258	
基本金組入額合計(12)		△ 59,180	△ 12,341	△ 17,068	△ 28,555	△ 42,233	
当年度収支差額(13)=(11)+(12)		△ 238,291	△ 61,298	33,883	21,808	83,025	

(参考)

事業活動収入合計(1)+(4)+(8)	940,068	1,069,200	1,069,390	1,085,035	1,085,131
事業活動支出合計(2)+(5)+(9)	1,119,179	1,118,157	1,018,439	1,034,672	959,873



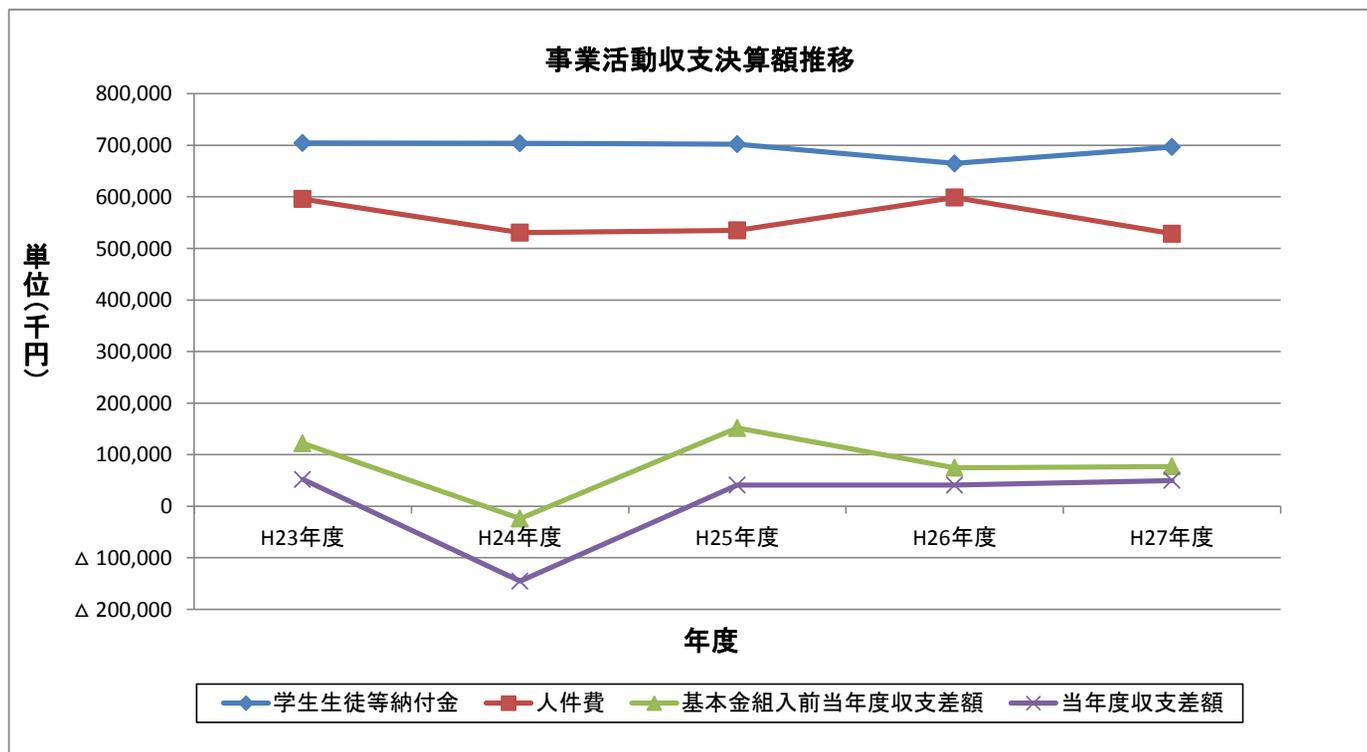
富山短期大学 決算額推移表

(単位:千円)

活動区分	年度		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
	科目						
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	704,461	703,960	702,324	664,664	696,597
		手数料	14,815	14,553	12,961	16,114	14,137
		寄付金	2,356	3,895	24,463	737	1,300
		経常費等補助金	128,841	122,759	143,183	186,959	173,162
		付随事業収入	32,817	27,457	33,877	28,515	17,733
		雑収入	87,942	63,520	49,677	102,339	30,062
		教育活動収入合計 (1)	971,232	936,144	966,485	999,328	932,991
	支事業の活動の部	人件費	595,702	530,467	535,169	598,560	528,564
		教育研究経費	216,028	269,785	230,811	284,115	283,970
		管理経費	36,022	42,741	45,861	40,688	41,551
		徴収不能額等	0	0	530	0	0
		教育活動支出合計 (2)	847,752	842,993	812,371	923,363	854,085
		教育活動収支差額 (3)=(1)-(2)	123,480	93,151	154,114	75,965	78,906
	教育活動外収支	収入の活動の部	受取利息・配当金	1,130	867	202	166
その他の教育活動外収入			0	0	0	0	0
教育活動外収入合計 (4)			1,130	867	202	166	174
支事業の活動の部		借入金等利息	670	536	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出合計 (5)	670	536	0	0	0
	教育活動外収支差額 (6)=(4)-(5)	460	331	202	166	174	
	経常収支差額 (7)=(3)+(6)	123,940	93,482	154,316	76,131	79,080	
特別収支	収入の活動の部	資産売却差額	0	17,620	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0	0	706
		特別収入合計 (8)	0	17,620	0	0	706
	支事業の活動の部	資産処分差額	1,985	134,968	2,812	1,592	2,678
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出合計 (9)	1,985	134,968	2,812	1,592	2,678
	特別収支差額 (10)=(8)-(9)	△ 1,985	△ 117,348	△ 2,812	△ 1,592	△ 1,972	
	基本金組入前当年度収支差額 (11)=(7)+(10)	121,955	△ 23,866	151,504	74,539	77,108	
	基本金組入額合計 (12)	△ 69,989	△ 121,524	△ 110,754	△ 33,568	△ 27,144	
	当年度収支差額 (13)=(11)+(12)	51,966	△ 145,390	40,750	40,971	49,964	

(参考)

事業活動収入合計 (1)+(4)+(8)	972,362	954,631	966,687	999,494	933,871
事業活動支出合計 (2)+(5)+(9)	850,407	978,497	815,183	924,955	856,763



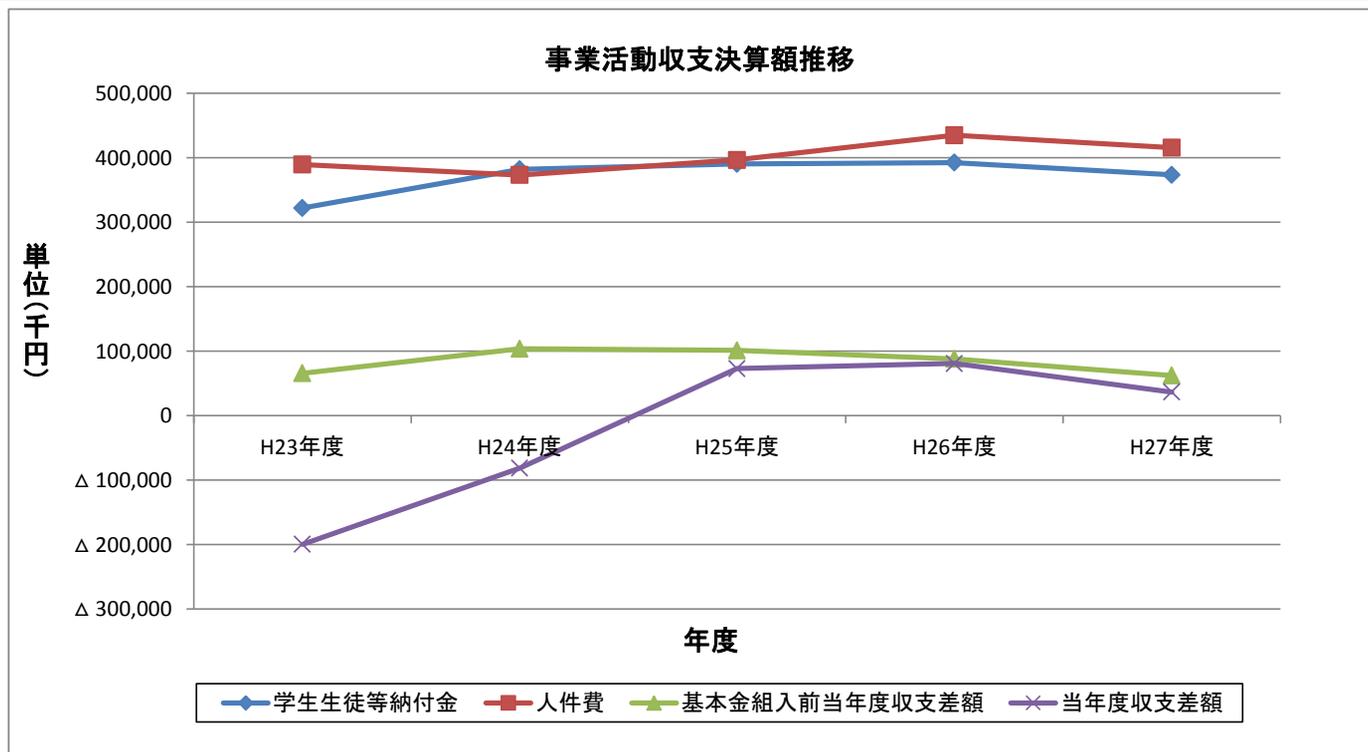
富山国際大学附属高等学校 決算額推移表

(単位:千円)

活動区分	年度		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
	科目						
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	322,071	382,005	390,354	392,452	373,582
		手数料	9,069	8,082	8,548	9,006	9,184
		寄付金	3,361	21,848	6,883	1,841	3,667
		経常費等補助金	236,894	243,837	258,941	270,932	265,502
		付随事業収入	21,870	28,499	30,390	32,310	25,295
		雑収入	41,790	2,931	12,233	27,069	1,115
	教育活動収入合計(1)		635,055	687,202	707,349	733,610	678,345
	支事出業の活動の部	人件費	389,435	373,229	396,736	434,831	415,821
		教育研究経費	150,723	188,488	185,195	187,875	199,719
		管理経費	14,383	15,236	15,654	14,050	13,283
徴収不能額等		0	0	0	0	0	
教育活動支出合計(2)		554,541	576,953	597,585	636,756	628,823	
教育活動収支差額(3)=(1)-(2)		80,514	110,249	109,764	96,854	49,522	
教育活動外収支	収事業の活動の部	受取利息・配当金	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入合計(4)	0	0	0	0	0
	支事出業の活動の部	借入金等利息	550	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出合計(5)	550	0	0	0	0
教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)		△ 550	0	0	0	0	
経常収支差額(7)=(3)+(6)		79,964	110,249	109,764	96,854	49,522	
特別収支	収事業の活動の部	資産売却差額	0	2,869	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0	0	12,912
		特別収入合計(8)	0	2,868	0	0	12,912
	支事出業の活動の部	資産処分差額	14,151	9,282	8,620	8,877	7
		その他の特別支出	0	0	0	0	1
		特別支出合計(9)	14,151	9,282	8,620	8,877	8
特別収支差額(10)=(8)-(9)		△ 14,151	△ 6,414	△ 8,620	△ 8,877	12,904	
基本金組入前当年度収支差額(11)=(7)+(10)		65,813	103,835	101,144	87,977	62,426	
基本金組入額合計(12)		△ 265,349	△ 185,007	△ 28,171	△ 7,096	△ 25,816	
当年度収支差額(13)=(11)+(12)		△ 199,536	△ 81,172	72,973	80,881	36,610	

(参考)

事業活動収入合計(1)+(4)+(8)	635,055	690,070	707,349	733,610	691,257
事業活動支出合計(2)+(5)+(9)	569,242	586,235	606,205	645,633	628,831



富山短期大学附属みどり野幼稚園 決算額推移表

(単位:千円)

活動区分	科目	年度					
		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	26,424	28,448	29,105	28,878	27,268	
	手数料	48	40	39	42	33	
	寄付金	588	589	826	787	546	
	経常費等補助金	18,676	19,561	19,737	21,353	22,561	
	付随事業収入	5,734	6,172	6,253	6,172	5,817	
	雑収入	8,434	55	784	176	0	
	教育活動収入合計 (1)	59,904	54,865	56,744	57,408	56,225	
	支事出業の活動の部	人件費	46,148	39,747	39,914	42,695	45,057
		教育研究経費	21,134	24,187	19,621	19,991	18,897
		管理経費	655	672	586	858	730
徴収不能額等		0	0	0	0	0	
教育活動支出合計 (2)	67,937	64,606	60,121	63,544	64,684		
教育活動収支差額 (3)=(1)-(2)		△ 8,033	△ 9,741	△ 3,377	△ 6,136	△ 8,459	
教育活動外収支	収事業の活動の部	受取利息・配当金	0	0	0	0	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0		
	教育活動外収入合計 (4)	0	0	0	0		
	支事出業の活動の部	借入金等利息	0	0	0	0	
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0		
教育活動外支出合計 (5)	0	0	0	0			
教育活動外収支差額 (6)=(4)-(5)		0	0	0	0		
経常収支差額 (7)=(3)+(6)		△ 8,033	△ 9,741	△ 3,377	△ 6,136	△ 8,459	
特別収支	収事業の活動の部	資産売却差額	0	0	0	0	
	その他の特別収入	0	0	0	0		
	特別収入合計 (8)	0	0	0	0		
	支事出業の活動の部	資産処分差額	0	0	0	0	
	その他の特別支出	0	0	0	0	72	
特別支出合計 (9)	0	0	0	0	72		
特別収支差額 (10)=(8)-(9)		0	0	0	0	△ 72	
基本金組入前当年度収支差額 (11)=(7)+(10)		△ 8,033	△ 9,741	△ 3,377	△ 6,136	△ 8,531	
基本金組入額合計 (12)		△ 920	△ 276	△ 353	△ 455	△ 280	
当年度収支差額 (13)=(11)+(12)		△ 8,953	△ 10,017	△ 3,730	△ 6,591	△ 8,811	

(参考)

事業活動収入合計 (1)+(4)+(8)	59,904	54,865	56,744	57,408	56,225
事業活動支出合計 (2)+(5)+(9)	67,937	64,606	60,121	63,544	64,756

